

加美町の土地利用とまちづくり条例に
関するアンケート調査結果
【まちづくり基本条例分】

【調査結果】

- アンケート調査結果の概要・・・P1～
- アンケート調査結果（各質問）の概要・・・P2～
[アンケート調査結果]
- 回答者の属性について・・・・・・P4～
- まちづくり条例について・・・・・・P7～

【アンケート調査について】

- 調査対象者：町内全世帯
- 実施時期：7月
- 調査内容：まちづくり条例に関しては、委員会等での検討がされる前であるため、条例の認知度や条例に盛り込む内容に関するものではなく、協働のまちづくりに関する町民の意識を調査する内容とした。

アンケート調査結果の概要

本アンケート調査は、まちづくり基本条例の策定にあたり、町民の協働のまちづくりに関する意識について調査をしました。

地域を自分たちで住み良くしていこうとする考え方については、「共感する」が55%と半数を占め、「どちらかといえば共感する」の36%を含めれば約9割になります。

また、行政区活動やコミュニティ活動、ボランティア活動などは地域を良くすることにつながっていると思う人も、「思う」が54%で、「どちらかといえば思う」の31%を含めれば約9割となります。そして、それらの活動に参加することについては、多くの方が職業についていることから「仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい」が40%と最も高い割合となり、特に年代が低くなるにつれて高い結果となりました。既に「参加している」と回答した方は27%となっており、こちらは年齢が高くなるにつれて割合が高くなり、定年退職の年代である60歳代が31%と最も高い結果でした。職業別では、「農林漁業」「会社・団体役員」「専業主婦・主夫」の割合が高く、「農林漁業」では39%となっています。また、地区別では宮崎地区が他地区よりも高くなっています。

それから、地域を自分たちで住み良くしていくためには、何が必要だと思ふかということで、(1)町民が自分たちで決めて、自分たちで行動すること、(2)町民と行政が互いに情報を共有すること、(3)行政が行う事業の企画・実施・評価に町民が参加すること、(4)町民・議会・行政が互いに協力すること、(5)地域の問題が地域で解決できることの5つの調査については、町民と行政が情報を共有することが「必要」73%で、「どちらかといえば必要」の23%を含めると96%にもなり、ほとんどの方が情報の共有の必要性を感じています。また、町民・議会・行政が協力することについても、「必要」が69%で、「どちらかといえば必要」の26%を含めると95%となり、地域の問題が地域で解決できることも「必要」が67%で、「どちらかといえば必要」の29%を含めると96%と、ほとんどの方が必要性を感じています。町民が自分たちで決めて、自分たちで行動することと、行政が行う事業の企画・実施・評価に町民が参加することについても、「どちらかといえば必要」も含めると約9割を占める結果となりました。以上のことから、町民と行政は互いに情報を共有し合いながら、地域の課題解決にあたっては、町民と議会、行政が協力し合いながら解決することが必要であると考えられます。

アンケート調査結果（各質問）の概要

問：地域を自分たちで住み良くしていこうとする考え方についてどう思うか？

全体では、「共感する」が55%と半数を占め、「どちらかといえば共感する」が36%となっています。

職業別では、「商工業・サービス業」と「会社・団体役員」が「共感する」で62%と高く、「アルバイト・パート」は46%と低くなっています。

問：行政区活動やコミュニティ活動、ボランティア活動など、町民自ら行う活動は、地域を良くすることにつながっているか？

全体では、「思う」が54%、「どちらかといえば思う」が31%となっており、多くの人が町民自ら行う活動が地域を良くすると考えています。

年代別では、30歳代が「思う」で41%と最も低く、20歳代と40歳代も46%と低くなっています。

職業別では、「会社・団体役員」が「思う」で62%と高くなっています

問：行政区活動やコミュニティ活動、ボランティア活動など、町民自ら行う活動に参加したいと思いませんか？

全体では、「仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい」が40%と最も高い割合を占めており、次いで「参加している」が27%となっています。

年代別では、年齢が高くなるにつれて「参加している」と「参加したいと思う」の割合が高くなっています。年齢が低くなると「仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい」の割合が高くなっています。

職業別では、「農林漁業」「会社・団体役員」「専業主婦・主夫」が「参加している」の割合が高くなっています。また、「商工業・サービス業」「会社員・公務員・団体職員」「アルバイト・パート」は「仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい」の割合が高くなっています。

地区別では、宮崎地区が「参加している」で34%と高くなっています。

問：地域を自分たちで住み良くしていくために、①町民が自分たちで決めて、自分たちで行動することは必要だと思いますか？

全体では、「必要」が47%、「どちらかといえば必要」が44%となっており、高い割合を占めています。

年代別では、年齢が低くなるにつれて「必要」の割合が低くなっています。

職業別では、「アルバイト・パート」が「必要」で38%と低くなっています

問：地域を自分たちで住み良くしていくために、②町民と行政が互いに情報を共有することは必要だと思いますか？

全体では、「必要」が73%と高い割合を占め、次いで「どちらかといえば必要」は23%となっています。

問：地域を自分たちで住み良くしていくために、③行政が行う事業の企画・実施・評価に町民が参加することは必要だと思いますか？

全体では、「必要」が51%と約半数を占めており、「どちらかといえば必要」が39%となっています。約1割の人が「あまり必要ではない」「必要ではない」と考えています。
年代別では、20歳代が35%と低くなっています。
地区別では、宮崎地区で57%と他地区より高くなっています

問：地域を自分たちで住み良くしていくために、④町民・議会・行政が互いに協力することは必要だと思いますか？

全体では、「必要」が69%と高い割合となっており、次いで「どちらかといえば必要」が26%となっています。

問：地域を自分たちで住み良くしていくために、⑤高齢者の生活支援や防犯などの地域の問題が、地域で解決できることは必要だと思いますか？

全体では、「必要」が67%と高い割合となっており、次いで「どちらかといえば必要」が29%となっています。

年代別では、「必要」が40歳代で73%、次いで70歳以上が69%と高くなっています。最も低いのが30歳代の59%となっています。

職業別では、「会社・団体役員」が78%と高くなっています

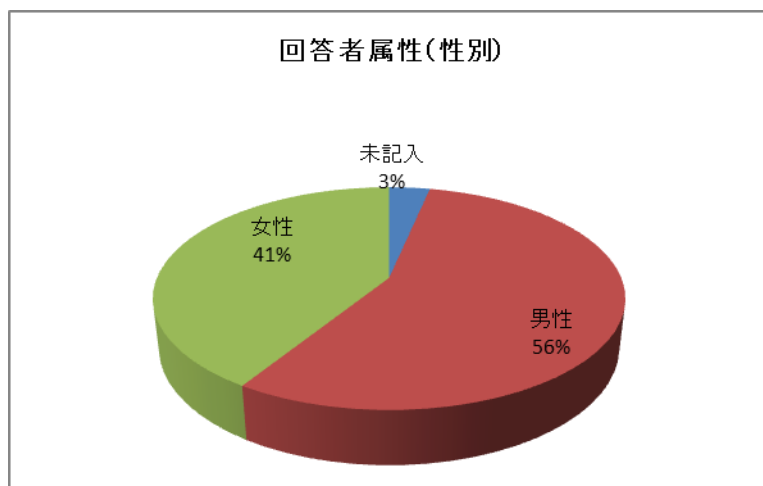
アンケート調査結果

(1) 回答者の属性について

【問1】性別

男性が56%、女性が41%となっており、男性の割合が若干大きくなっています。

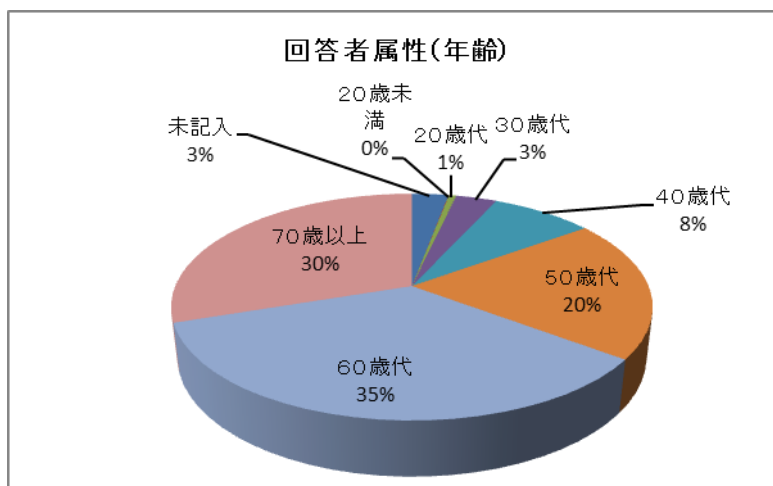
項目	回答数
未記入	92
男性	1,532
女性	1,131
計	2,755



【問2】年齢

50代、60代、70代の回答者の割合が80%以上を占めており、20代、30代、40代の回答者の割合はそれぞれ1%、3%、8%と低くなっています。

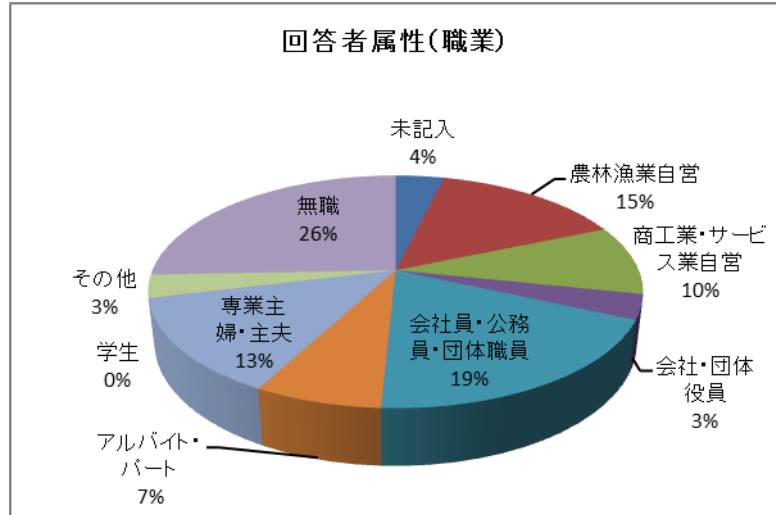
項目	回答数
未記入	81
20歳未満	1
20歳代	16
30歳代	91
40歳代	225
50歳代	556
60歳代	955
70歳以上	830
計	2,755



【問3】職業

主な職業は、「無職(26%)」、「会社員・公務員・団体職員(19%)」、「農林漁業自営(15%)」の順になっています。

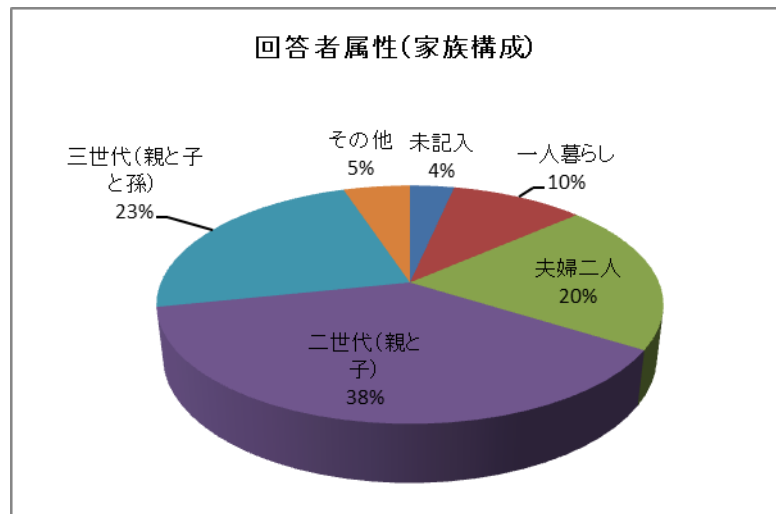
項目	回答数
未記入	104
農林漁業自営	409
商工業・サービス自営	266
会社・団体役員	95
会社員・公務員・団体職員	525
アルバイト・パート	194
専業主婦・主夫	366
学生	2
その他	89
無職	705
計	2,755



【問4】家族構成

二世代(親と子)の占める割合が38%と最も多くなっています。また、三世代(親と子と孫)の占める割合は23%となっており、複数世帯の家族構成は61%を占めています。

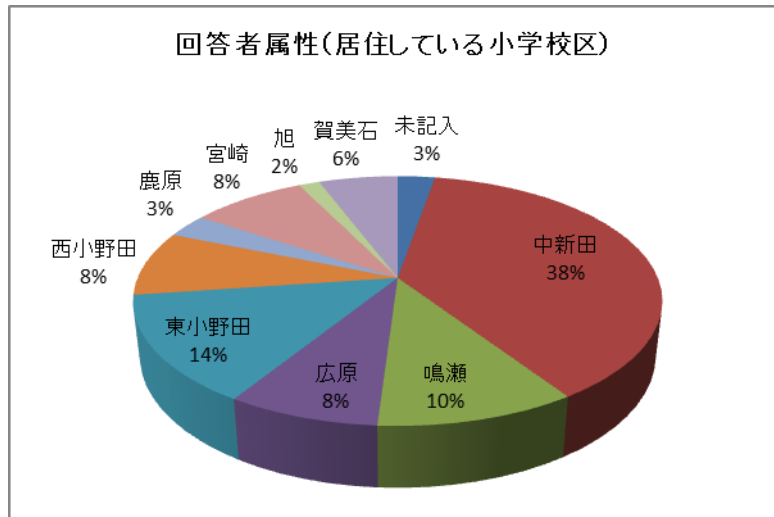
項目	回答数
未記入	93
一人暮らし	280
夫婦二人	561
二世代(親と子)	1,042
三世代(親と子と孫)	639
その他	140
計	2,755



【問5】お住まい

中新田地区の回答者は38%と最も高い割合となっています。次いで、東小野田地区(14%)、鳴瀬地区(10%)、広原地区(8%)、西小野田地区(8%)、宮崎地区(8%)となっており、中新田地区を以外ではおおむね均等な回答が得られています。

住まい	回答数
未記入	75
中新田	1,045
鳴瀬	285
広原	217
東小野田	383
西小野田	232
鹿原	84
宮崎	232
旭	42
賀美石	159
計	2,754
無効票	1



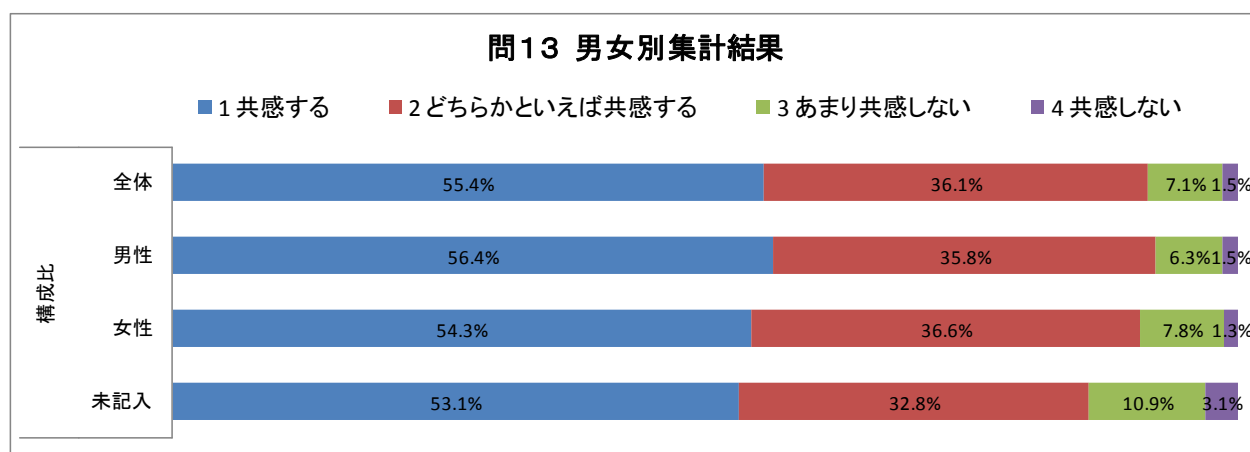
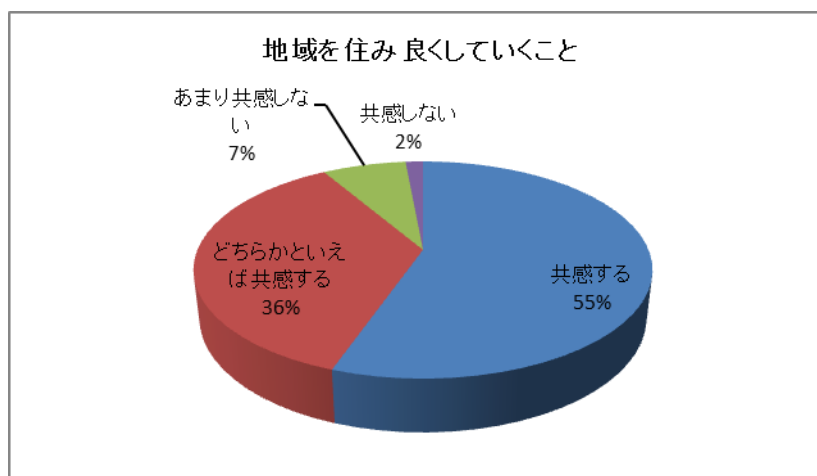
(2) まちづくり条例に関することについて

【問 13】

地域を自分たちで住み良くしていこうとする考え方について、どう思いますか。
 あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

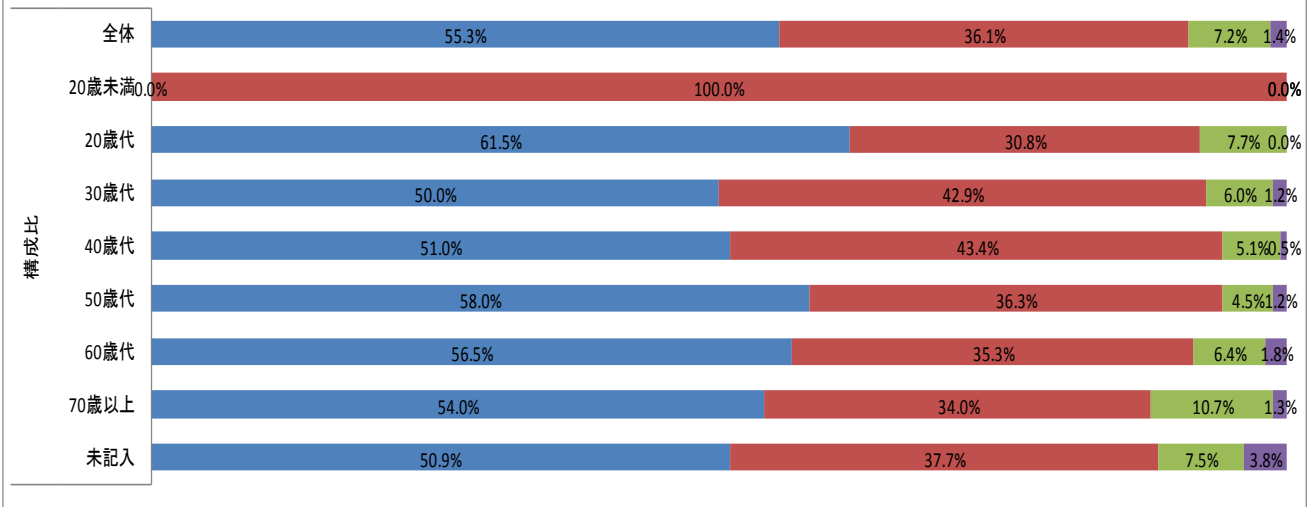
「共感する」が55%と半数以上となっています。また、「どちらかといえば共感する」が36%となっています。

住み良く	回答数
未記入	228
共感する	1,400
どちらかといえば共感する	912
あまり共感しない	178
共感しない	37
計	2,755



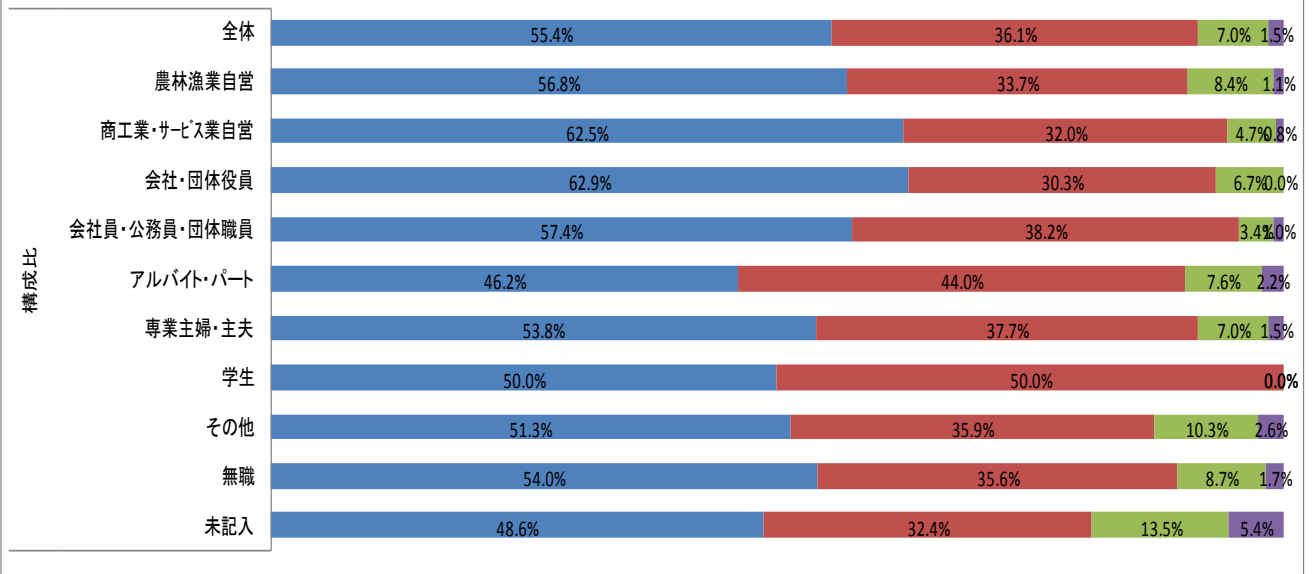
問13 年齢別集計結果

■ 1 共感する ■ 2 どちらかといえば共感する ■ 3 あまり共感しない ■ 4 共感しない



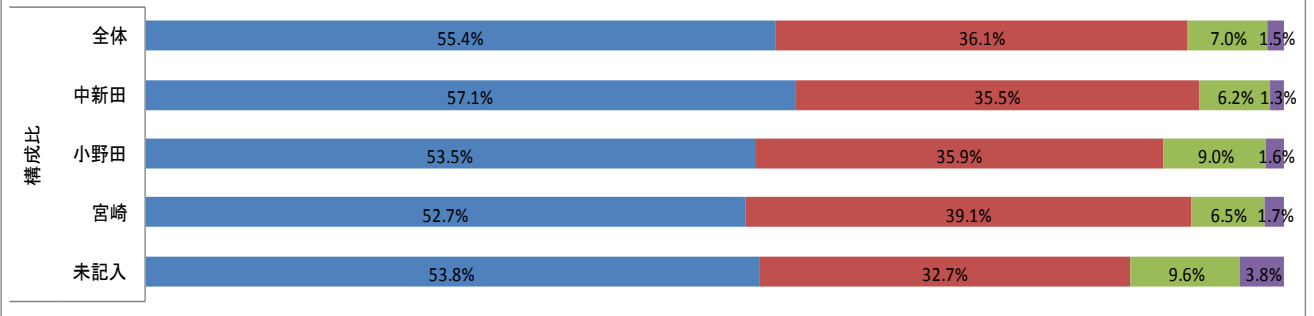
問13 職業別集計結果

■ 1 共感する ■ 2 どちらかといえば共感する ■ 3 あまり共感しない ■ 4 共感しない



問13 地区別集計結果

■ 1 共感する ■ 2 どちらかといえば共感する ■ 3 あまり共感しない ■ 4 共感しない



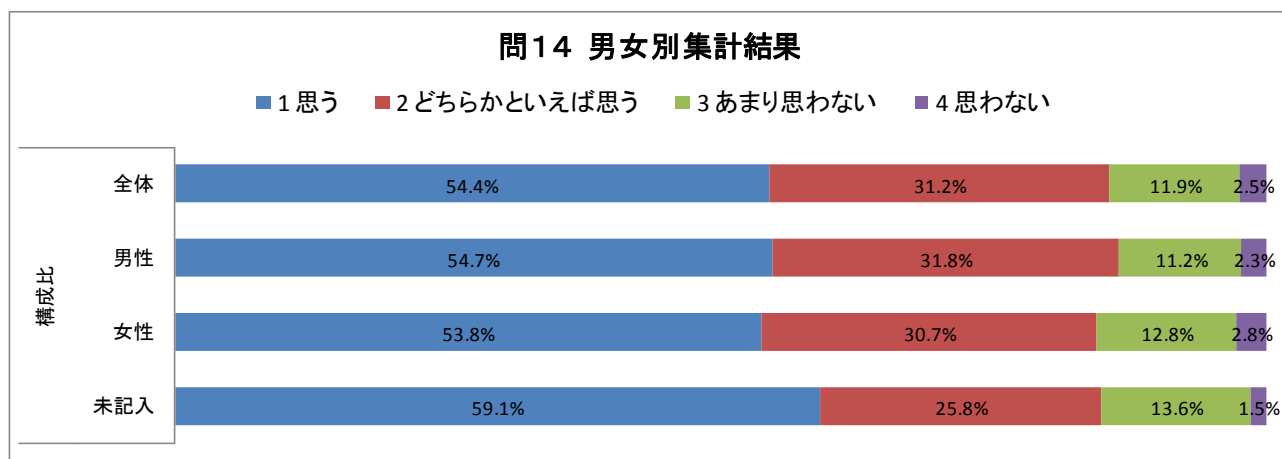
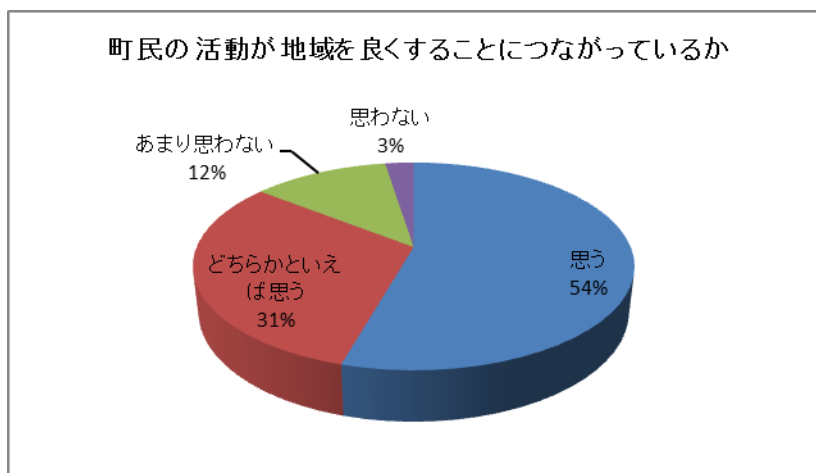
【問 14】

行政区活動やコミュニティ活動、ボランティア活動など、町民自らが行う活動は、地域を良くすることにつながっていると思いますか。

あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

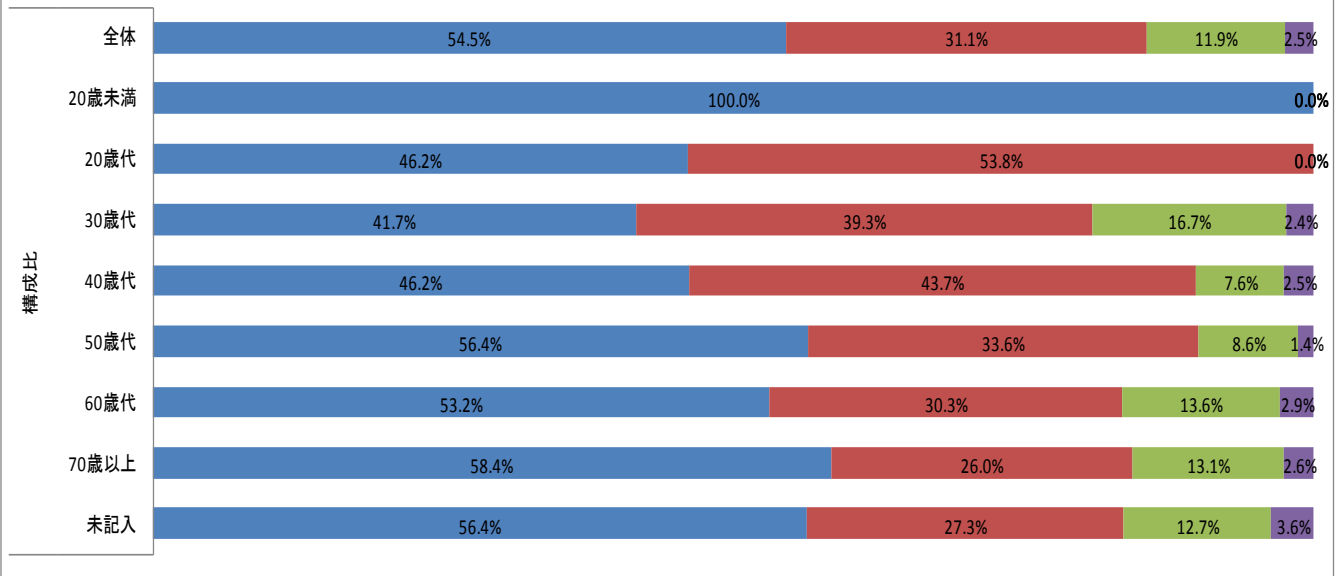
「思う」が 54%、「どちらかといえば思う」が 31%となっており、多くの方が町民自らが行う活動が地域を良くすると考えています。

町民活動	回答数
未記入	188
思う	1,397
どちらかといえば思う	800
あまり思わない	306
思わない	64
計	2,755



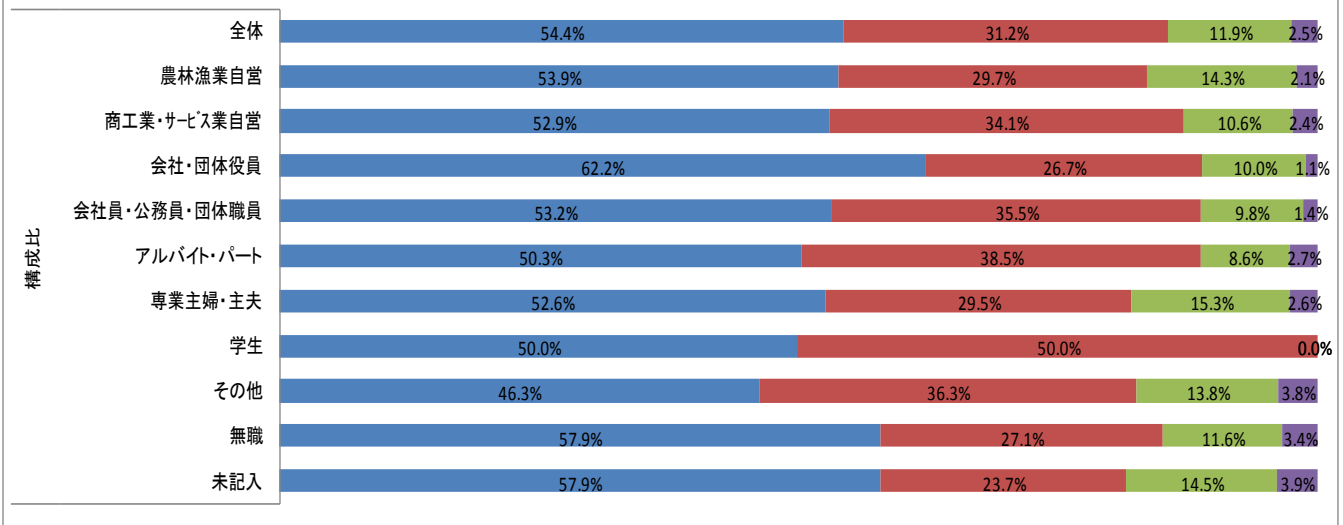
問14 年齢別集計結果

■ 1 思う ■ 2 どちらかといえば思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



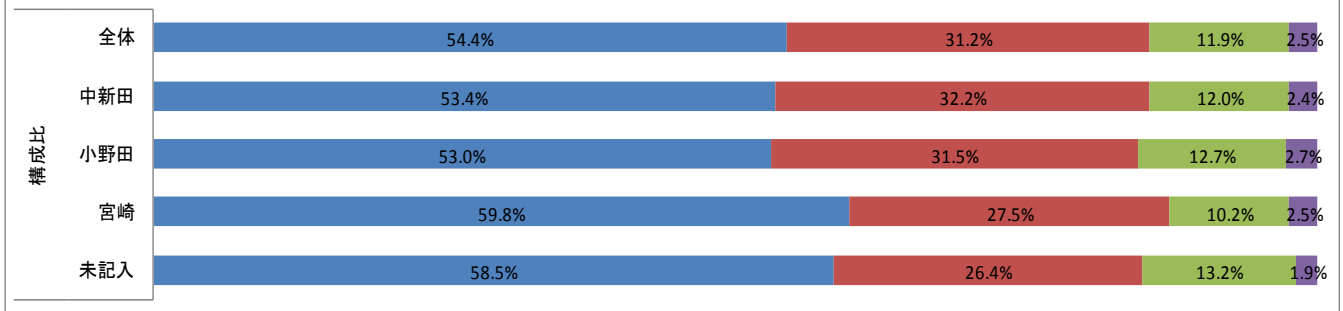
問14 職業別集計結果

■ 1 思う ■ 2 どちらかといえば思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



問14 地区別集計結果

■ 1 思う ■ 2 どちらかといえば思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない

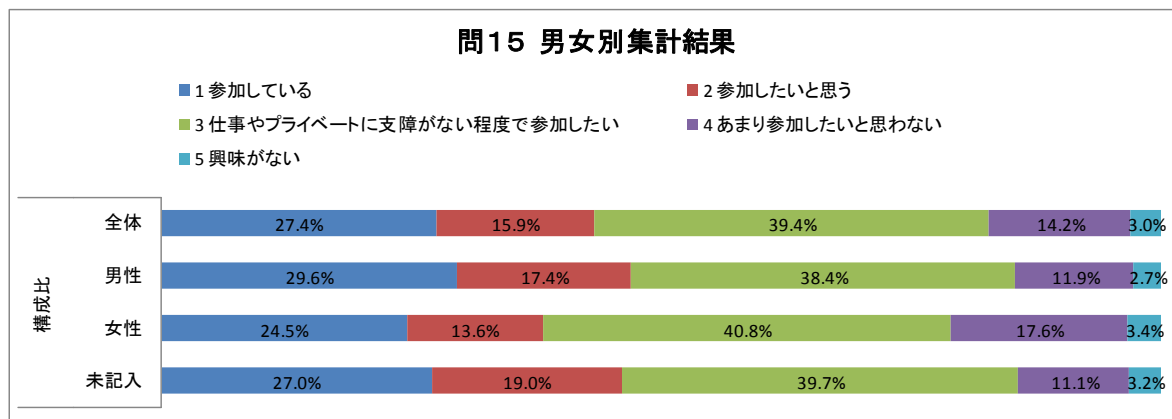
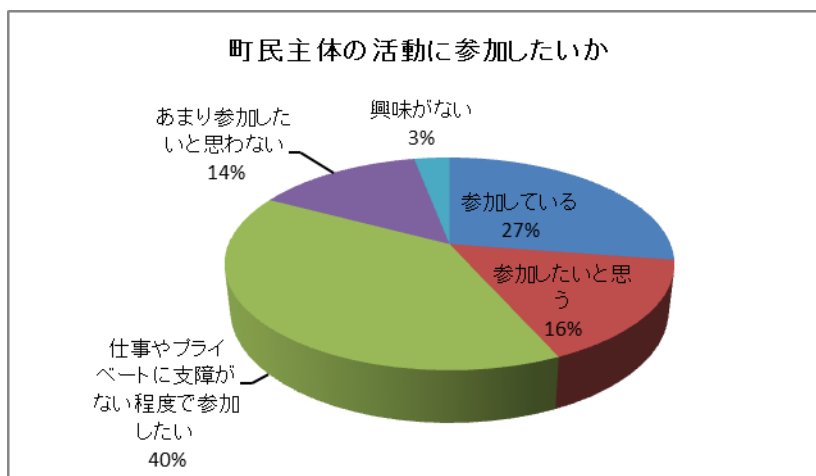


【問 15】

あなたは、問 1 4. の活動に参加したいと思いますか。
 あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

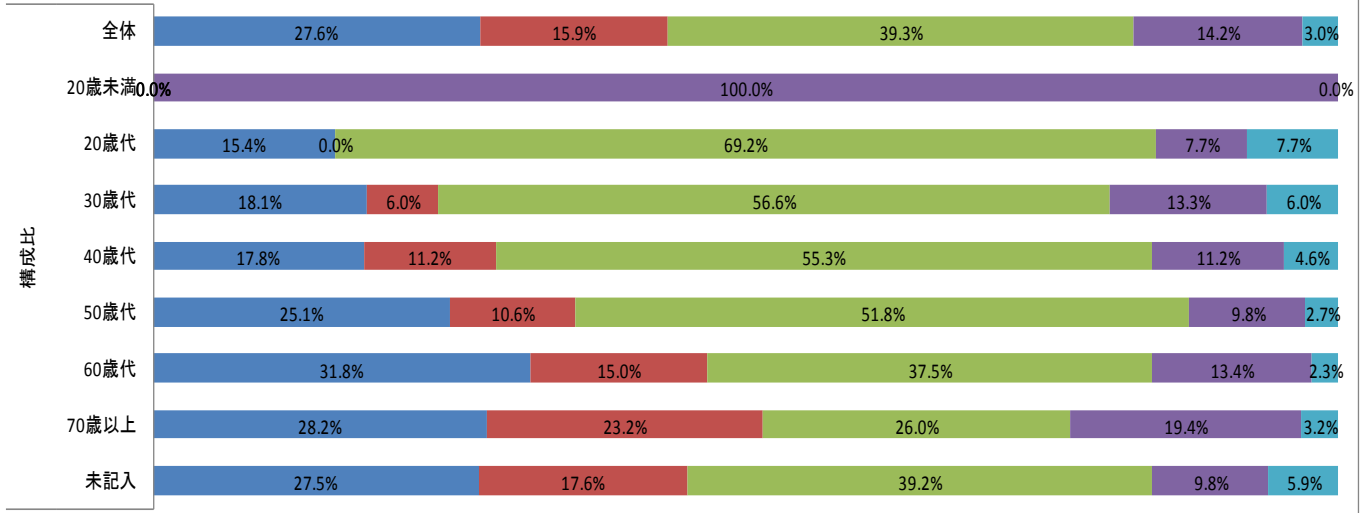
「仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい」が 40%と最も高い割合を占めており、次いで「参加している」が 27%となっています。

町民活動への参加	回答数
未記入	214
参加している	694
参加したいと思う	403
仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい	1,000
あまり参加したいと思わない	361
興味がない	77
計	2,749
無効票	6



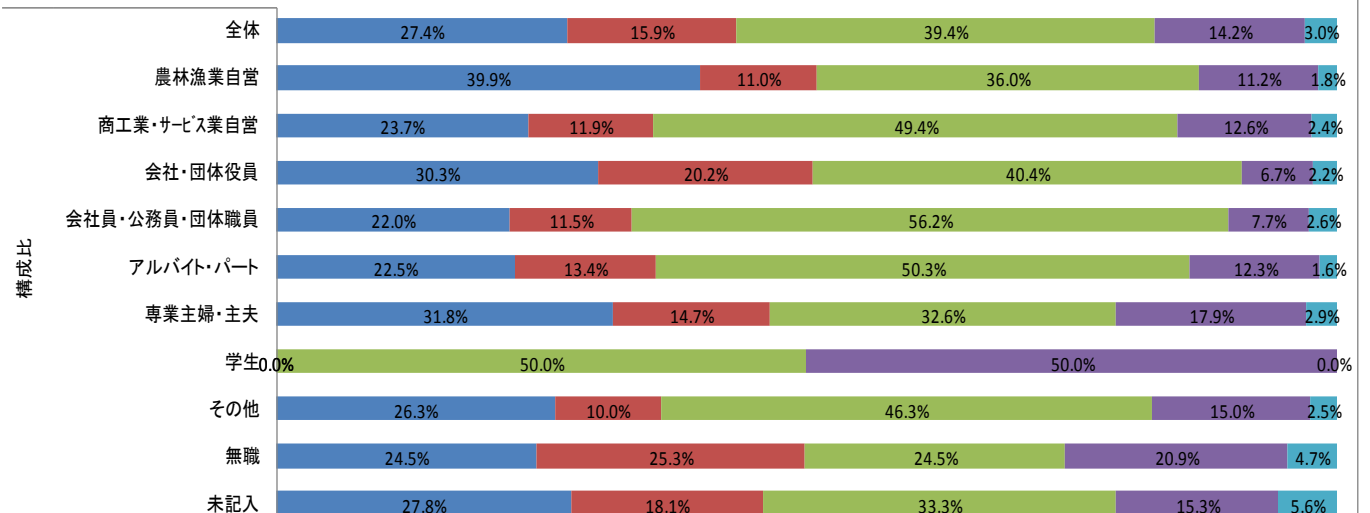
問15 年齢別集計結果

■ 1 参加している ■ 2 参加したいと思う ■ 3 仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい ■ 4 あまり参加したいと思わない ■ 5 興味がない



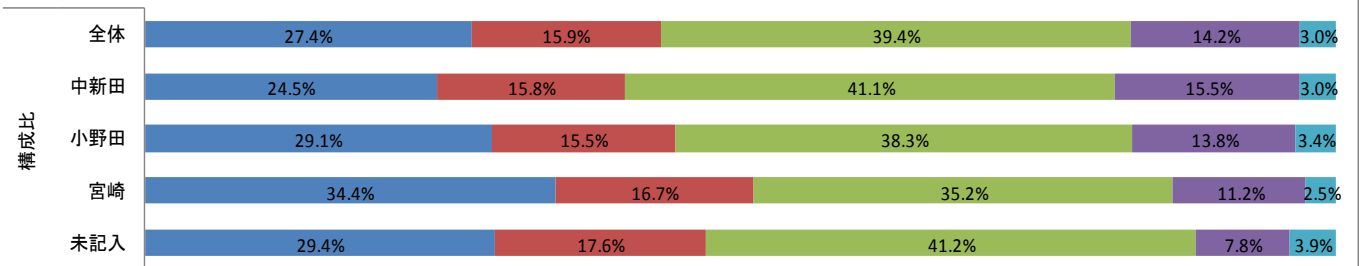
問15 職業別集計結果

■ 1 参加している ■ 2 参加したいと思う ■ 3 仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい ■ 4 あまり参加したいと思わない ■ 5 興味がない



問15 地区別集計結果

■ 1 参加している ■ 2 参加したいと思う ■ 3 仕事やプライベートに支障がない程度で参加したい ■ 4 あまり参加したいと思わない ■ 5 興味がない



【問 16】

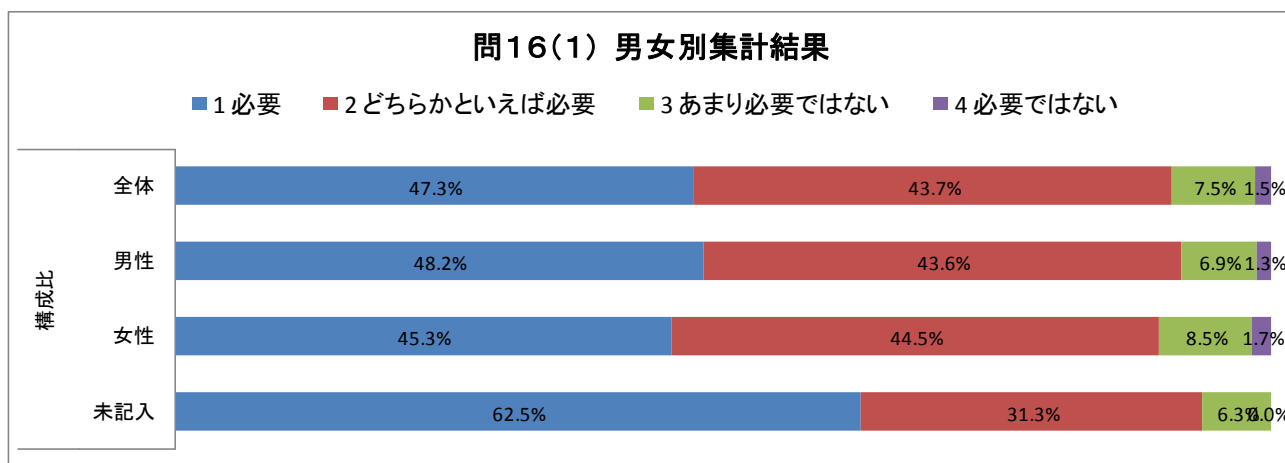
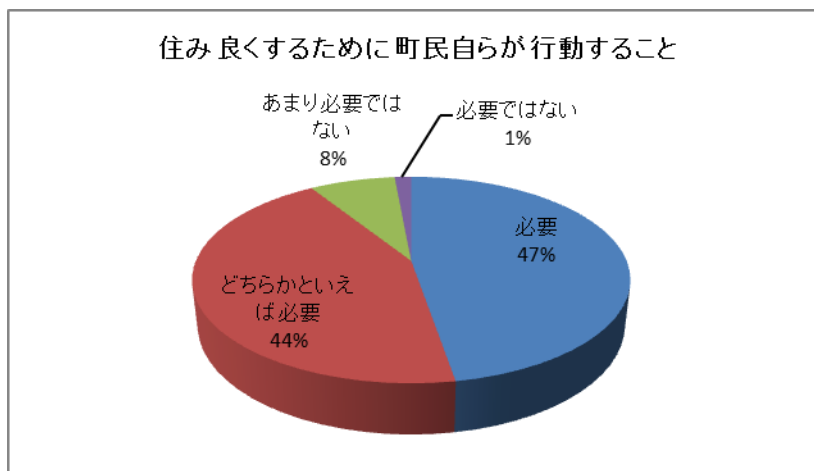
地域を自分たちで住み良くしていくためには、何が必要だと思いますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

(1) 町民が自分たちで決めて、自分たちで行動すること

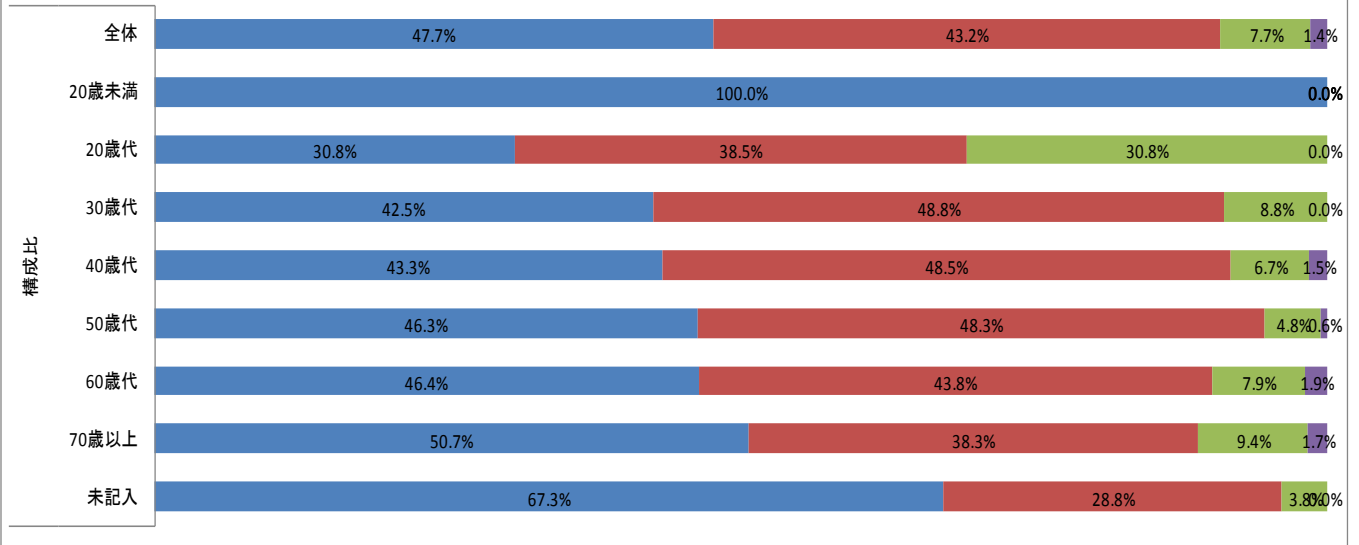
「必要」が47%、「どちらかといえば必要」が44%となっており、高い割合を占めています。

項目	回答数
未記入	235
必要	1,191
どちらかといえば必要	1,100
あまり必要ではない	190
必要ではない	37
計	2,753
無効票	2



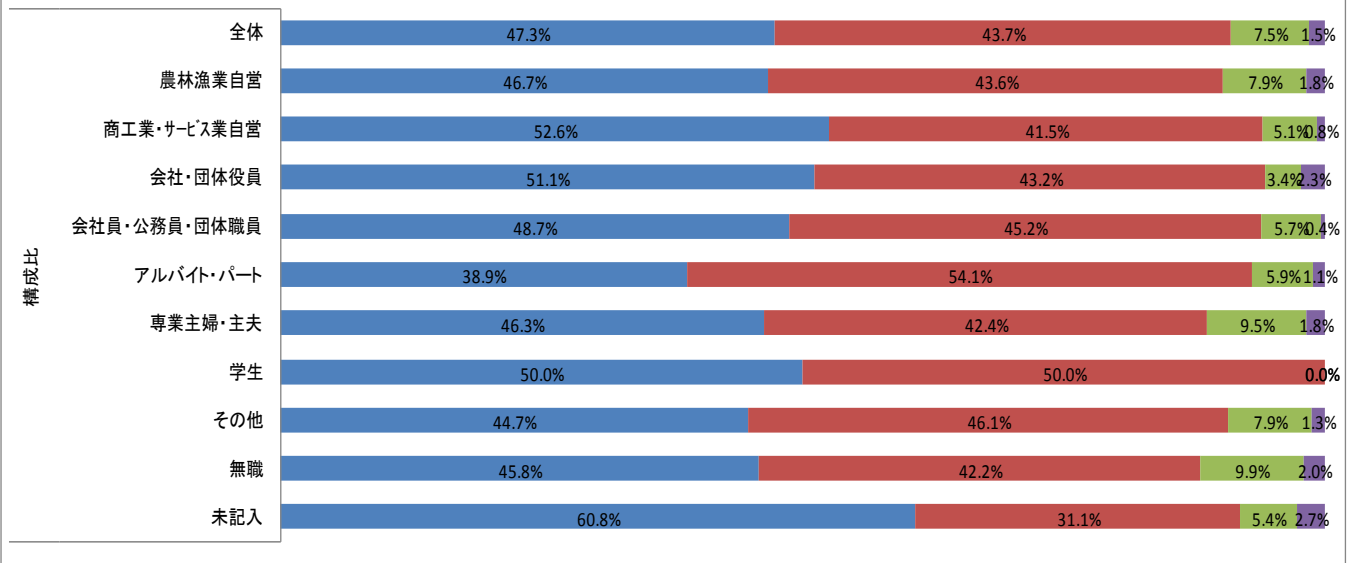
問16(1) 年齢別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



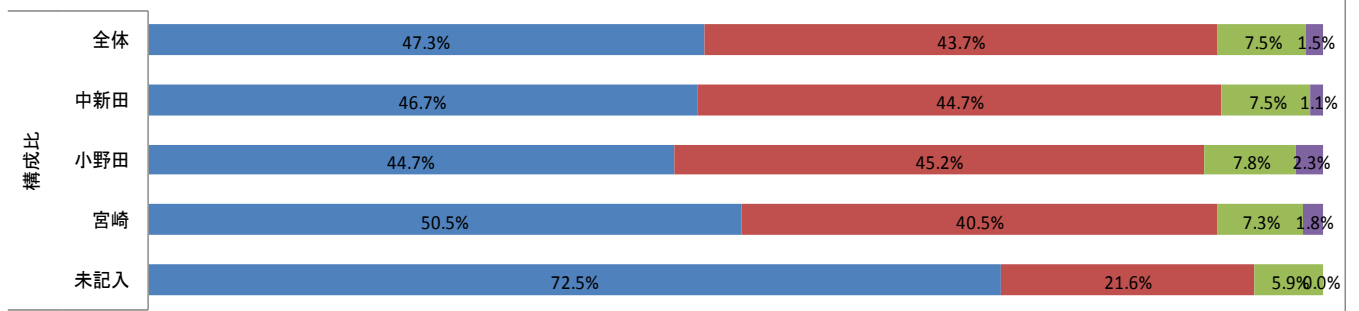
問16(1) 職業別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



問16(1) 地区別集計結果

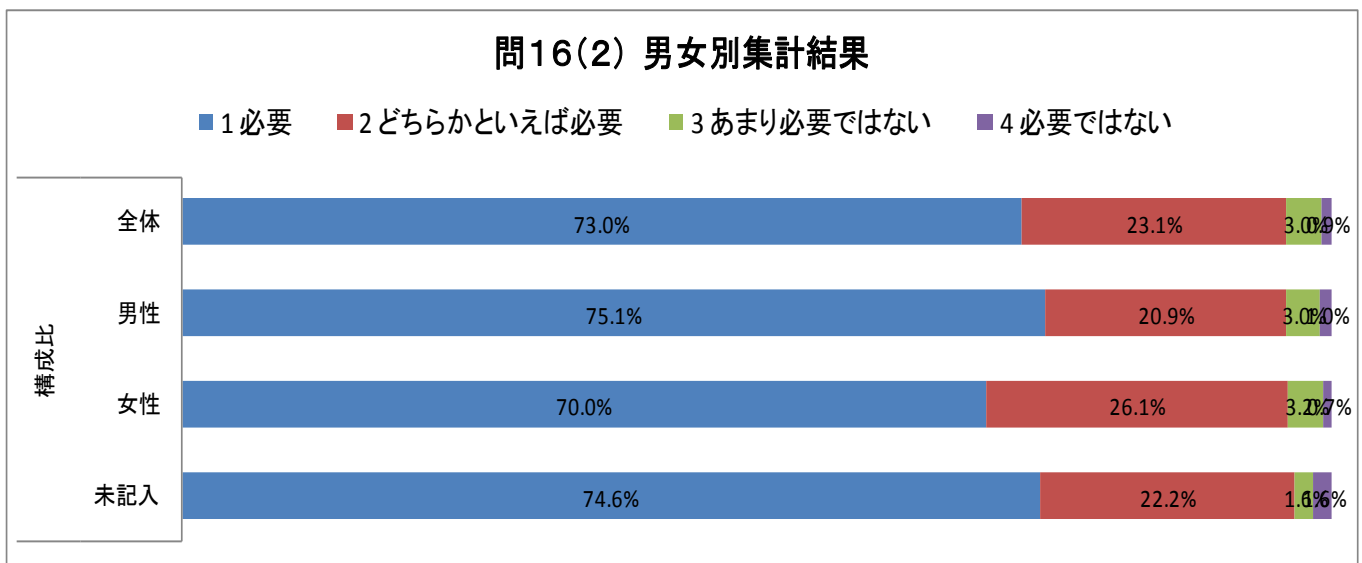
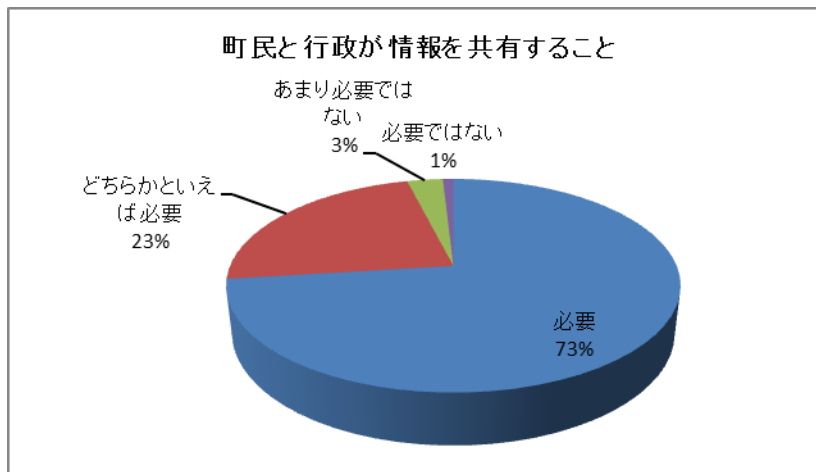
■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



(2) 町民と行政が互いに情報を共有すること

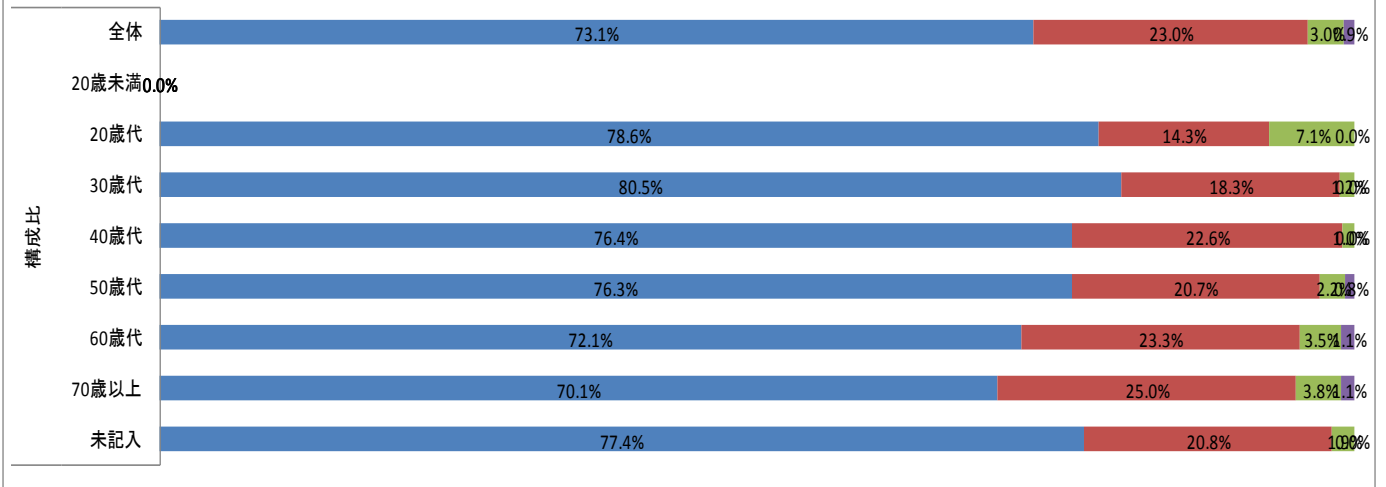
「必要」が73%と高い割合を占め、次いで「どちらかといえば必要」は23%となっています。「あまり必要ではない」が3%、「必要ではない」が1%と低い割合です。

情報共有	回答数
未記入	186
必要	1,875
どちらかといえば必要	591
あまり必要ではない	78
必要ではない	23
計	2,753
無効票	2



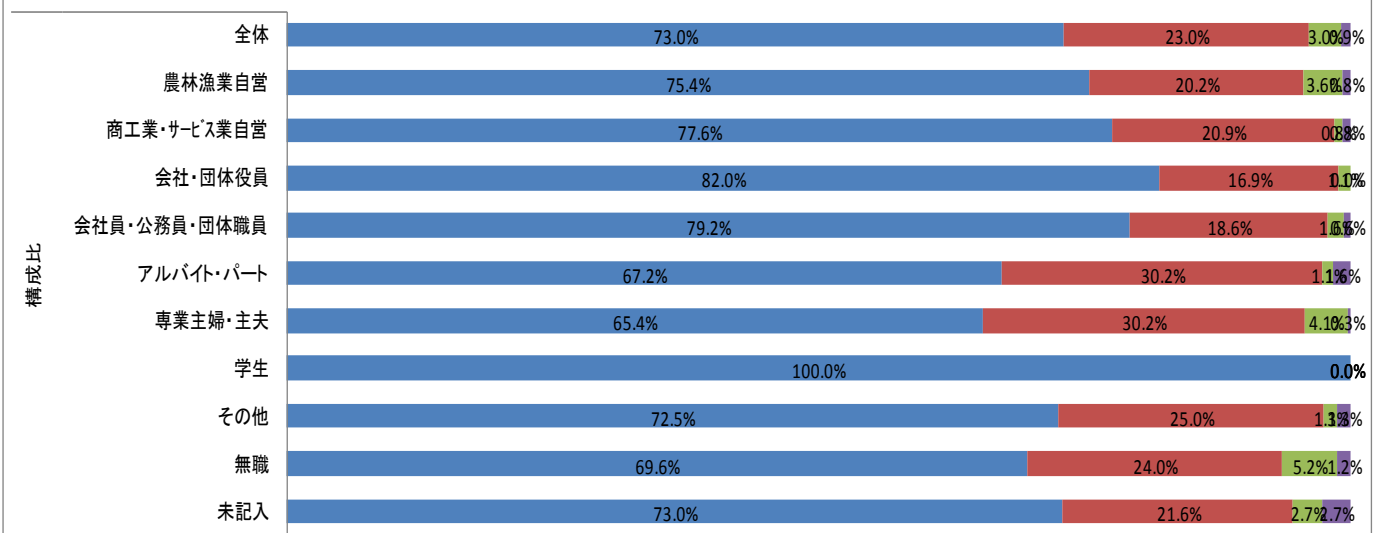
問16(2) 年齢別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



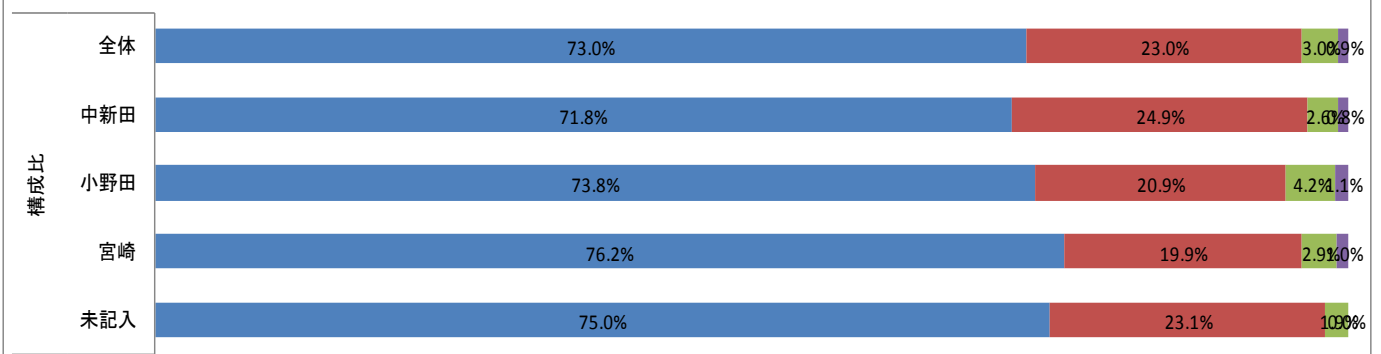
問16(2) 職業別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



問16(2) 地区別集計結果

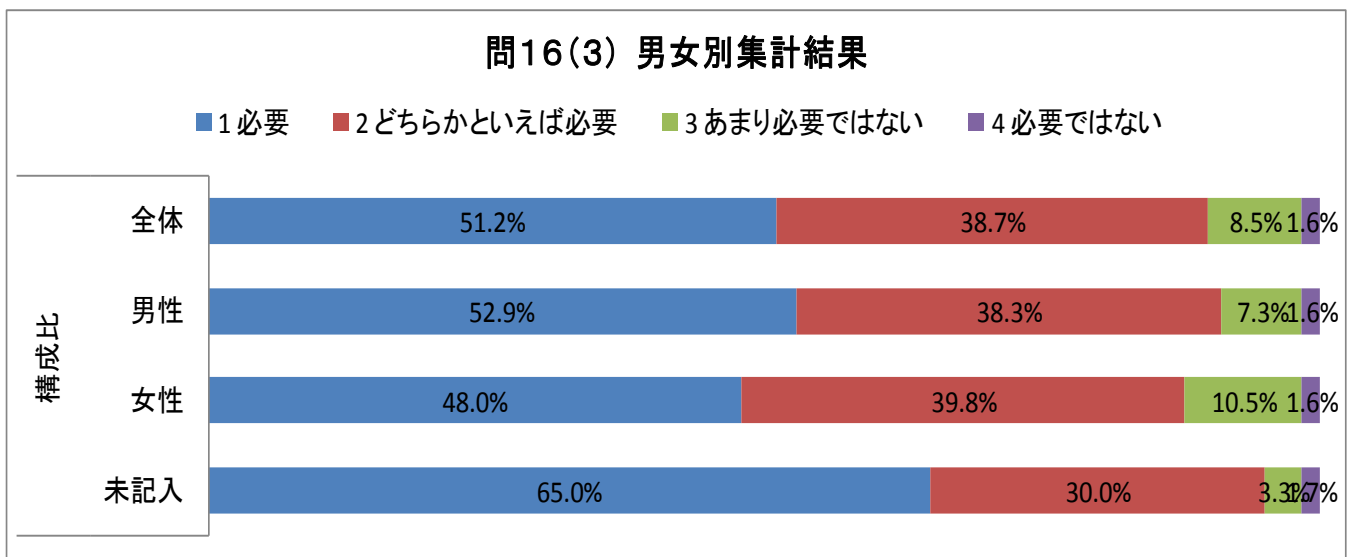
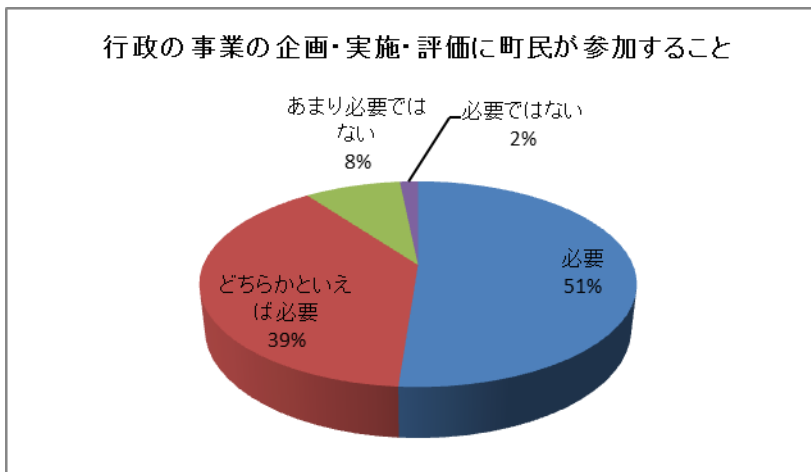
■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



(3) 行政が行う事業の企画・実施・評価に町民が参加すること

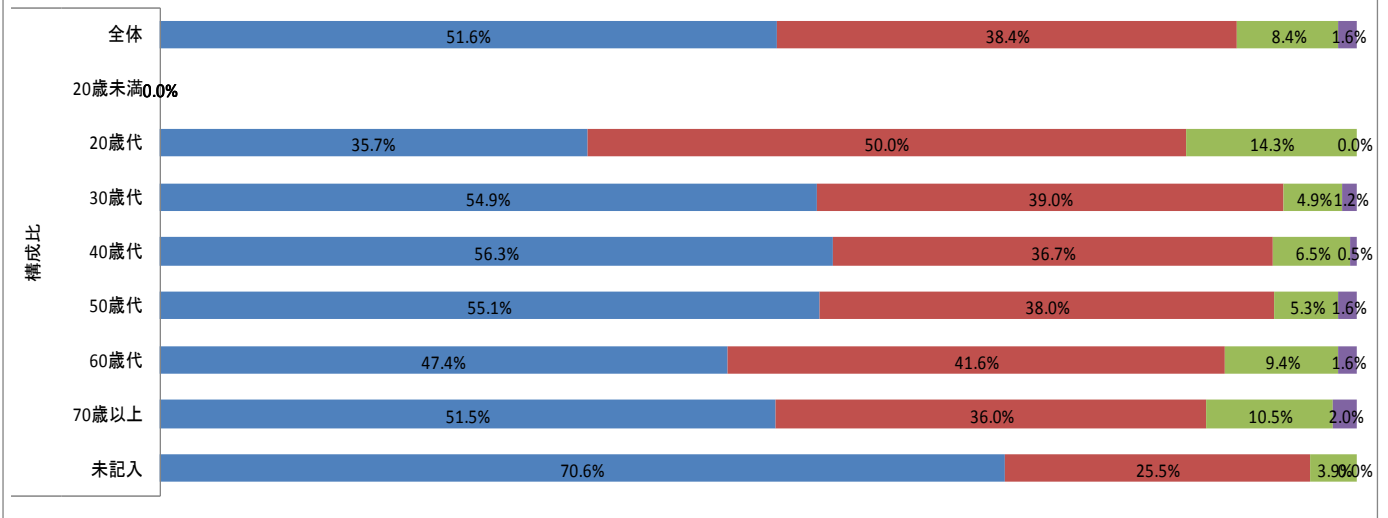
「必要」が51%と約半数を占めており、「どちらかといえば必要」が39%となっています。また、約1割の人が「あまり必要ではない」、「必要ではない」と考えています。

項目	回答数
未記入	199
必要	1,307
どちらかといえば必要	988
あまり必要ではない	217
必要ではない	41
計	2,752
無効票	3



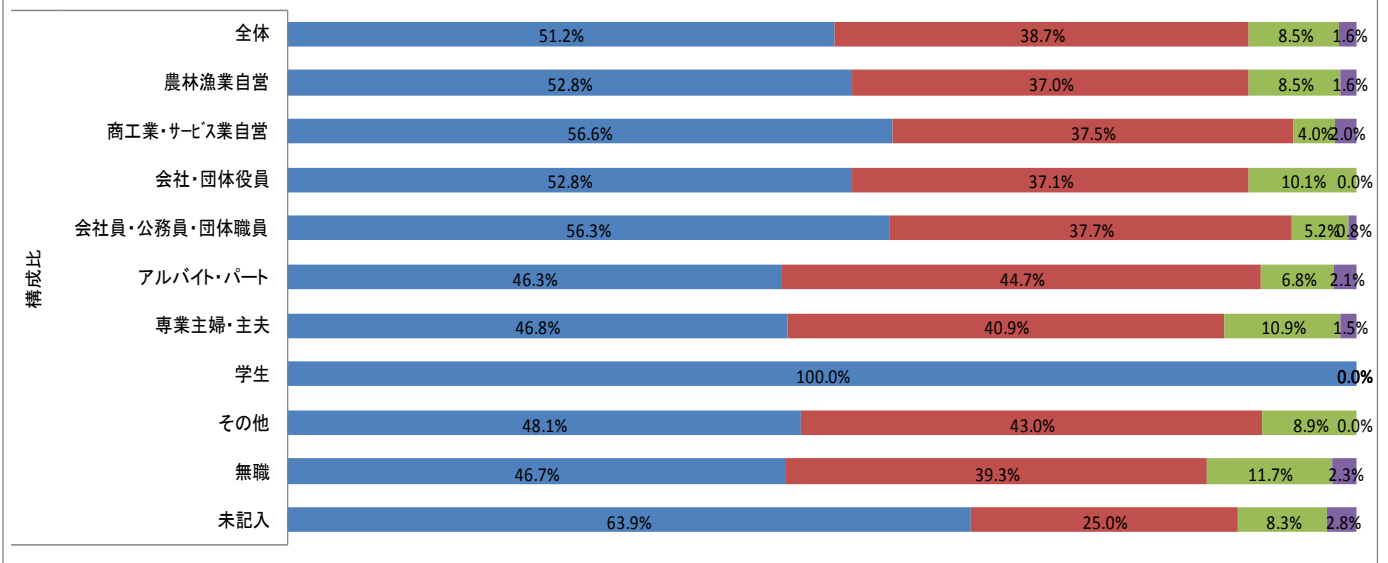
問16(3) 年齢別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



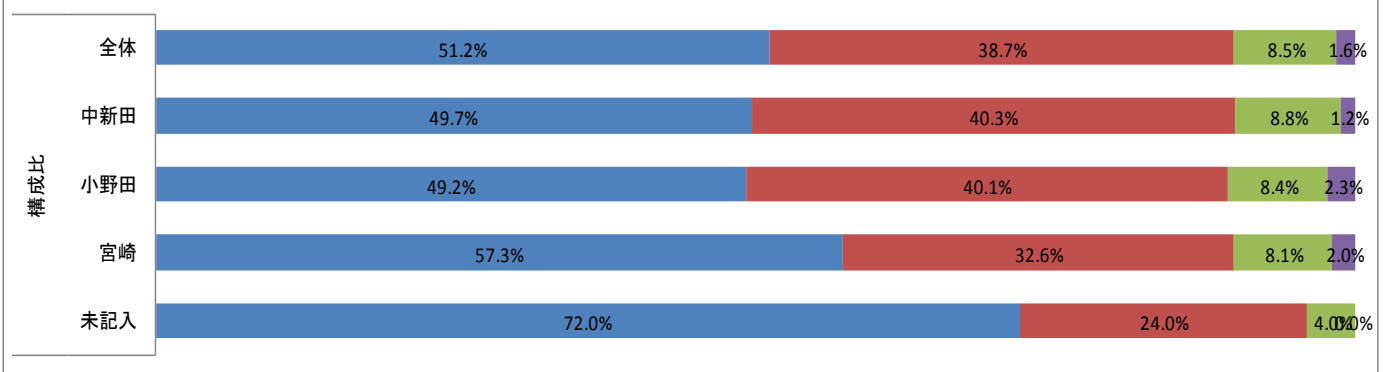
問16(3) 職業別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



問16(3) 地区別集計結果

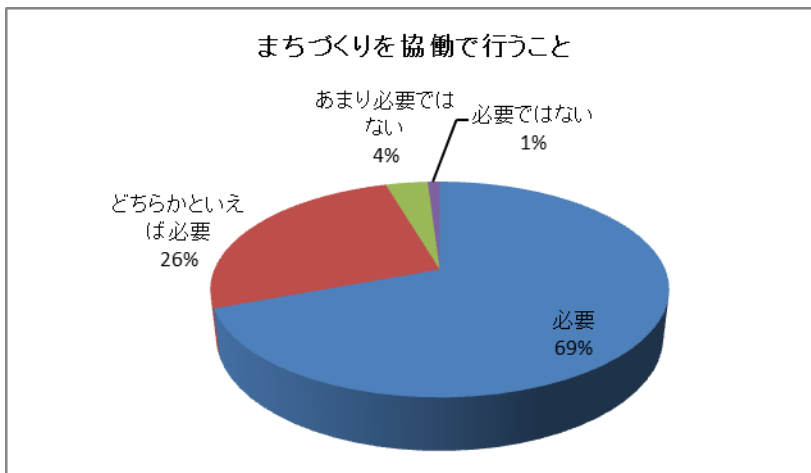
■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



(4) まちづくりを進めるにあたり、町民・議会・行政が互いに協力すること。

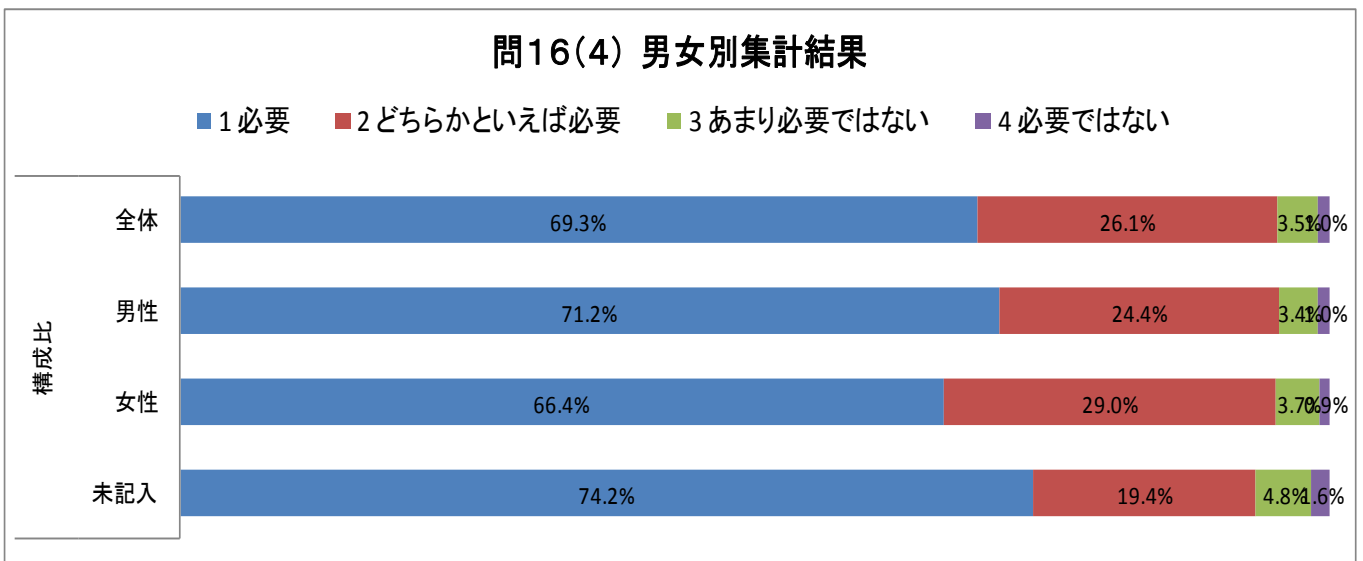
「必要」が69%と高い割合となっており、次いで「どちらかといえば必要」が26%となっています。「あまり必要ではない」は4%、「必要ではない」が1%と低くなっています。

項目	回答数
未記入	187
必要	1,779
どちらかといえば必要	671
あまり必要ではない	91
必要ではない	26
計	2,754
無効票	1



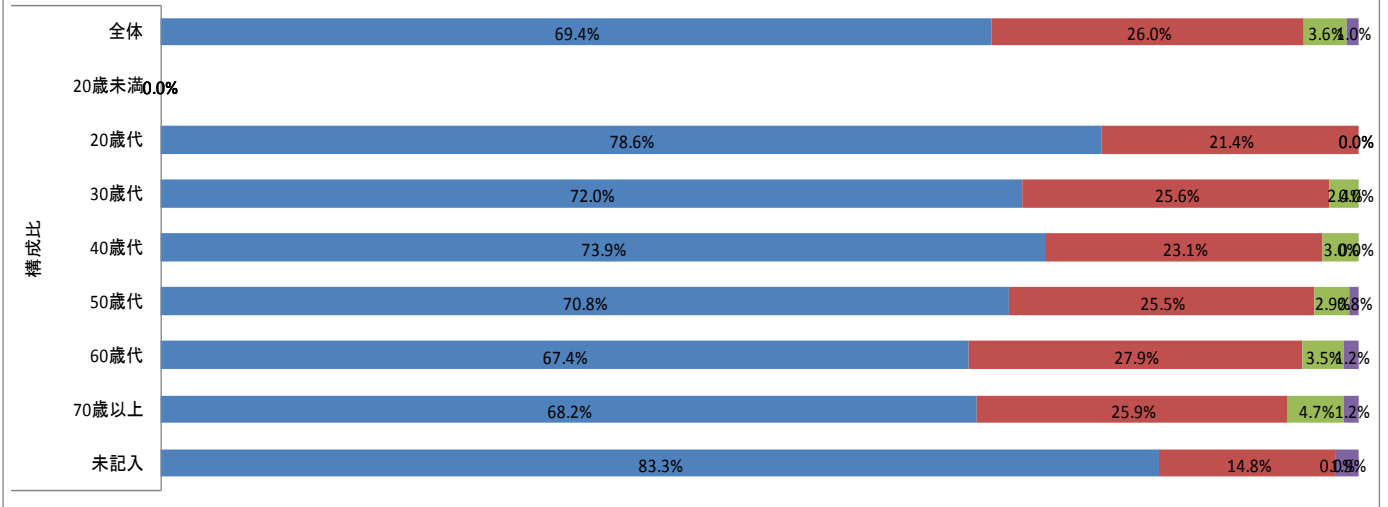
問16(4) 男女別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



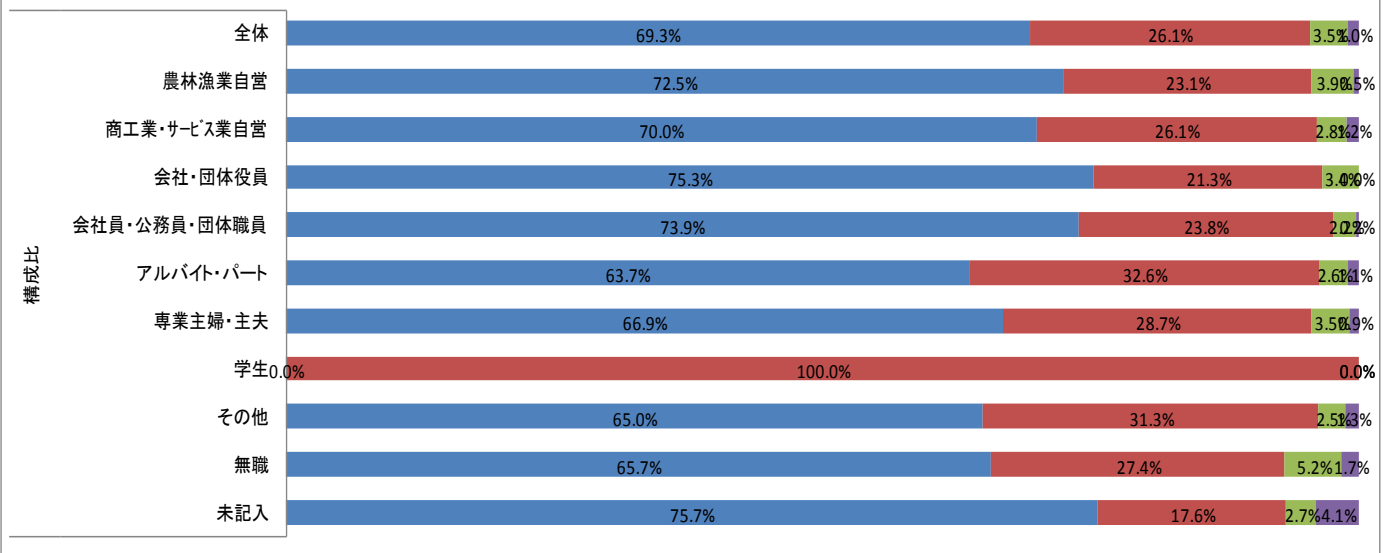
問16(4) 年齢別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



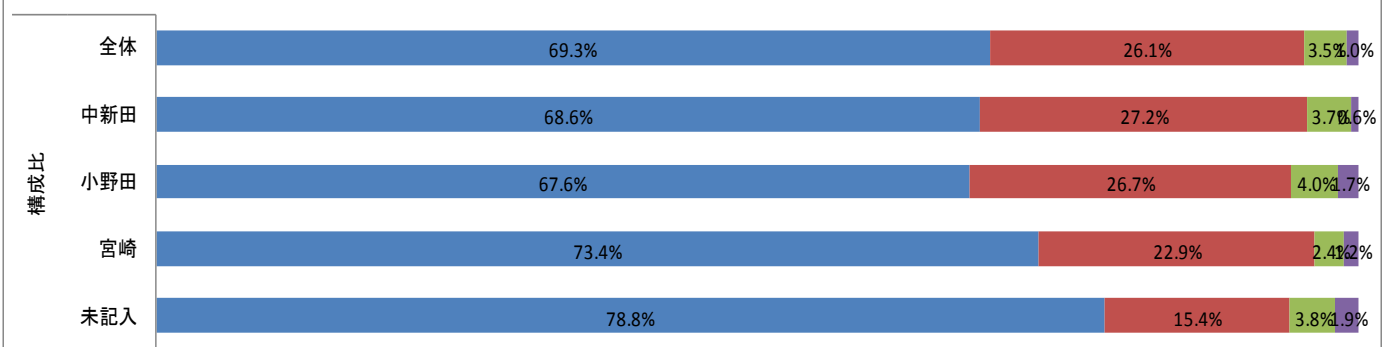
問16(4) 職業別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



問16(4) 地区別集計結果

■ 1 必要 ■ 2 どちらかといえば必要 ■ 3 あまり必要ではない ■ 4 必要ではない



(5) 高齢者の生活支援や防犯などの地域の問題が、地域で解決できること。

「必要」が67%と高い割合となっており、次いで「どちらかといえば必要」が29%となっています。「あまり必要ではない」は3%、「必要ではない」は1%と低い割合です。

地域での解決	回答数
未記入	196
必要	1,726
どちらかといえば必要	733
あまり必要ではない	77
必要ではない	22
計	2,754
無効票	1

